

学校だより

# アビラ

第42号  
(通算204号)

平成 28 (2016) 年 9 月 13 日  
在ベネズエラ日本国大使館  
附属カラカス日本人学校発行

目指す児童生徒像 よく考える子 思いやりのある子 進んでやりぬく子 強くたくましい子 日本もベネズエラもよく知る子

**人の前でも物怖じせずに堂々と発表できる力が着実に育ってきています！**

**グローバル人材の卵が日本人学校で大きく、大きく育っています！** **こどもまつり特集 1**

■ 授業参観・夏休み自由研究発表会・英語劇発表・こどもまつり・PTAパリージャ等々 ■



9月10日(土)は1日が3日分を感じられる程、充実した1日でした。朝休みには、「児童と先生による読み聞かせ集会」、1時間目は授業参観でした。そして、2時間目は「夏休み自由研究発表会・英語劇発表」でした。読み聞かせも自由研究発表も英語劇も、どれも子どもたちが主役、子どもたちの発表力が輝いていました。グローバル人材の卵は着実にすくすくと育っています。(「アビラ」NO.43 に続く)

## カラカス日本人学校をもっともっと知り、もっともっと好きになるために…(その122)

**カラカス日本人学校はみんなの大切な、大切な宝物です！ NO. 17**

10日(土)の「こどもまつり」の際、PTAパリージャが行われました。今回はこのパリージャについて記してみます。(パリージャ Parrilla は、もともとは「焼き網」の意味があります。)

ベネズエラではパリージャと呼ばれる焼き肉料理は、アルゼンチンやチリ、パラグアイではアサードと呼ばれています。もともとは、 gaucho (カウボーイ) が牛追いの生活の中で食していた料理ですから、大変豪快な男の料理です。欧米では、バーベキューがそれにあたりますが、それぞれ少しずつ趣(おもむき)が違っています。豪快さでは何といてもアルゼンチンのアサード、ベネズエラ等で行われているパリージャということになるでしょう。さて、ではこのパリージャをカラカス日本人学校で行うようになったのはいつ頃からなのでしょう。調べてみますと、開校当時や児童生徒数が多かった時代は、行われていなかったようです。また、行うにしても学校外の施設で行われていました。2000年代に入り、児童生徒数も減り、PTAでパリージャが行われるようになりました。(写真左：2001年当時、写真右：2011年当時のパリージャ)

